

越前がに、甘エビ、福井梅の梅酒…

香港きき酒師ら食堪能 県が海外へ福井PR



福井梅を使った梅酒を試飲する参加者たち。県庁で

香港在住のきき酒師や中国・北京の会社社長らの一行が十九日、来県。酒蔵などを見学した後、県庁を訪れ、越前がにや甘エビ、梅酒など福井の食の魅力について理解を深めた。

「ふいの食アンバサダー」で、日本酒サーブス研究会・酒匠研究会連合会の理事を務める友田晶子さんと香港のきき酒師ら計十三人が訪問した。

県側が県内の食について説明。越前がにについて、毎年皇室に献上していることや、黄色いタグが付いていることが証しなどと紹介。地酒は、県内のおいしい水とコメを使用していることなどをアピールした。

参加者は福井梅を使用した梅酒を試飲。北京では梅酒が人気で、飲む人に若い人が多いことなどを説明する男性もいた。

県庁訪問前には、黒龍酒造（永平寺町）で酒蔵などを見学。香港のきき酒師・

ビリー・チャンさんは「福井にこんなにおいしいものがあるとは知らなかった。黒龍酒造はおいしい酒造りをしていて感動した」などと話し、「香港に戻ったら福井の良さを紹介したい」と笑顔を見せた。一

安全保障法廃止を 福井弁護士会訴え

JR福井駅周辺

昨年九月に国会で成立した安全保障法の廃止を訴えるため、福井弁護士会は十九日、福井市中央一丁目のJR福井駅周辺で街頭活動を実施した。

県内の弁護士十五人が参加。「安保法を廃止にしましょう」「安保法は憲法違



通勤者らにチラシなどを配り、安全保障法反対を呼び掛ける弁護士。福井市のJR福井駅西口で

レイアウト・平林 靖博
行は、NPO法人国際きき酒師協会の発足式出席のため来日。二十日には越前町で越前焼体験、福井市で酒造見学などを予定している。

(中場賢一)

反です」と通勤者らに呼び掛けながら、用意したチラシと使い捨てカイロの千セツトを配った。

この日は法案成立からちよつど五カ月目。福井弁護士会の憲法委員会の島田広委員長も「憲法が危機にある。市民が反対の声を上げなければ、守ることができないことを訴えた」と話した。

(玉田能成)

人事異動

福井銀行(19日)
県庁支店長(おい支店長) 木村文彦(おい支店長) 小浜支店長代理 永井竜哉(花月支店学園出張所長) 監査グループ監査チーフ 八杉昌治(本部付) 県庁支店長 清水邦夫(同) 花月支店学園出張所長) 伊藤勝秀

叙位叙勲(19日)
旭日单光章 元上中町議原田進氏(ハセ) 若狭町持田15の8(1月22日死去)

きよひの

動 静

福田衆院議員 党務
高木衆院議員 大臣執務

午後1時30分 市区長会連合会総会(郷陽会館)▽地区区長会(市内)
あわら・橋本市長 各種行事▽